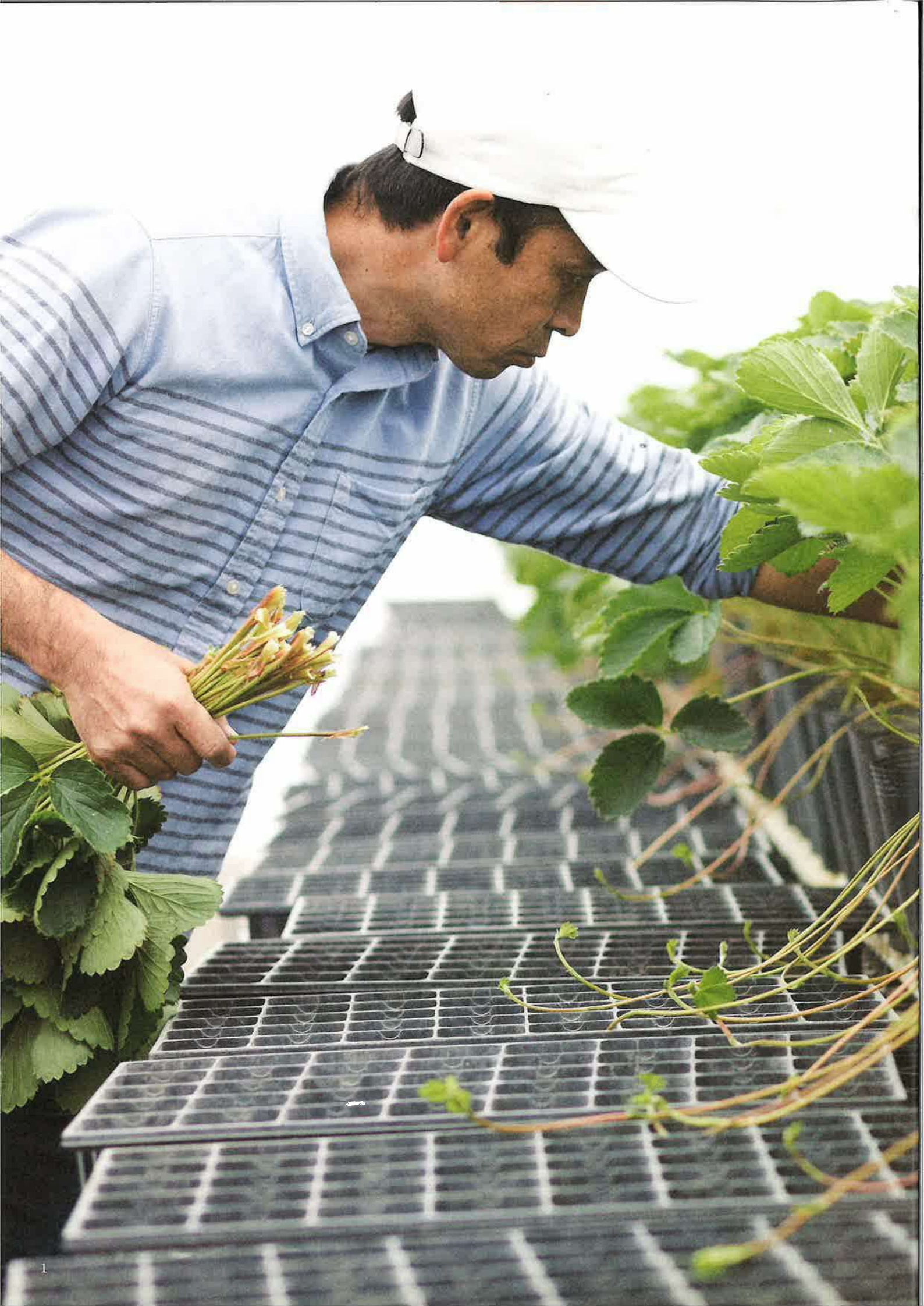
安来市いちご就農BOOK

本気で、いちごやろう。



いちご農家、という生き方。

いちごづくりに嘘はつけない。

つくり手の信念や考え方が、一粒の実にすべてあらわれる。

だからこそ、農家一人ひとりのまなざしに

困難や失敗を受け入れ、前に進む“覚悟”が宿っている。

土地に根ざし、時代をとらえ、

ひたむきにいちごの一生に向き合っていく。

その姿に自分の未来が重なるなら

あなたの生きていく場所は、ここにあるのかもしれない。

さあ、本気で、いちごやろう。

なかうみプロジェクト

NAKAUMI PROJECT

いちごで、安来を元気にしたい。

島根県安来市は、県内有数のいちご産地として知られています。しかし近年、いちご農家の高齢化に伴う栽培面積の減少から年間の出荷量・販売額は徐々に低下しつつあります。

そのような状況の中、市内でも特にいちご栽培が盛んな集落の一つである下坂田地区では、同地区をいちご産地として再生させることで安来市のいちご栽培のこれからを担う役割を果たしたいと、若手を含めたいちご農家8名が中心となって2017年2月に「なかうみプロジェクト」を立ち上げました。

同プロジェクトの大きな取り組みとして、いちご栽培での新規就農を志す方がスムーズに就農研修から独立就農へと移行できるよう、住宅地と農地、研修において栽培技術を学ぶことのできる師匠、そして集落ぐるみの受け入れ体制を整えました。（下坂田いちご就農・定住パッケージ）

また、いちご農家同士のネットワーク構築や栽培・販売にあたっての連携を図ろうと同プロジェクトの新規就農者が集まり勉強会を開催しているほか、web上でのいちごの栽培状況と反省の共有、ハウスのビニール張り替えの共同作業、ネット通販による都市部への直接販売など、様々な取り組みを進めています。

「なかうみプロジェクト」という名前には、下坂田地区のみならず、市の北部に面する中海沿岸に広がるいちご産地を活性化したいという想いが込められています。

島根の安来の下坂田

下坂田地区は安来市の平野部に位置する世帯数24戸、人口79人（2017年10月時点）の集落です。市の中心部にほど近く、周辺の松江市、米子市といった市街地までは自動車で30分圏内といったアクセスの良さが魅力です。また、同地区にはいちごのほかぶどう、米、花きなどの栽培農家が集中しており、市内でも有数の農業が盛んな地域となっています。

下坂田の歴史

数百年前、下坂田地区は市内を流れる飯梨（いいなし）川の河道でした。山陰地方は古来より「たたら製鉄」で栄えた地域であり、これに使用する砂鉄を川の真砂から採取する「かんな流し」が飯梨川上流で盛んに行われたことで、長い年月をかけて現在の地形ができあがりました。そのため、同地区には肥沃な砂質土壌が堆積しており、古くから農業が盛んに営まれてきました。

同地区のいちご栽培の歴史は昭和20年代までさかのぼります。はじめは露地栽培からスタートしましたが、その後様々な栽培品種の導入・改良、ハウス栽培といった技術の発展が進み、現在では年間出荷量約240トン、県内生産第1位（県内生産の約7割）を誇る安来市の“顔”といえる農産物となっています。

自分で選んだ道だから すべての経験が 糧になる。

認定新規就農者

いちご農家歴 2年

Uターン（島根県出雲市）

石橋 賢一郎さん

ISHIBASHI KENICHIRO

PROFILE

安来市出身。大学卒業後、県内の農業法人に2年8ヶ月勤務。農家になるという幼い頃からの夢を叶えるべく退職し、Uターン。3年間の研修を経て、2016年9月より独立就農。

栽培方法：土耕栽培　品種：紅ほっぺ

いつもそばで支えてくれる家族に感謝しています。

子どもの頃から自然の中で働くことにあこがれがあり、将来は農業に携わりたいと思っていました。「いつか地元へ帰りたい」と、働きながら新規就農のための資金を貯めていたところ、家族からの勧めがきっかけとなり安来市の農林振興課へ就農相談に行くようになりました。それから半年の時間をかけて栽培品目や資金、研修先などについて話し合いを重ね、いちご栽培での新規就農を決めました。

農業は自然の条件に左右される仕事なので、毎年状況が変わります。研修先で通用したことが自分のほ場ではうまくいかないこともあります。それでも自分がずっとやりたかったことができているという満足感が大きく、やめたいと思ったことは一度もありません。まだ、スタートラインに立ったばかり。失敗はあるものだという気持ちで、毎年少しずつレベルアップしていきたいです。

3作目となる来シーズンからはハウス2棟を増設して規模を拡大し、新品種の栽培に挑戦します。

石橋さんのいちごづくり

初めの1作目では多くの失敗を経験しました。それを受け止め、しっかりと対応してきた結果として、今作では出荷目標を達成することができました。県の農業普及員や周りの農家仲間に相談しながら、「最終的に責任を引き受けるのは自分」という意識を持って日々いちご栽培に向き合っています。

先輩からの本気メッセージ

未来を見据え、ともに歩む仲間として。

高見 謙一さん　いちご農家歴 4年

TAKAMI KENICHI

PROFILE

安来市出身。静岡県の会社に勤務後、実家の農家を継ぐ形で2014年にUターン。2017年に運行を開始した豪華寝台列車「瑞風」のランチにいちごが利用されるなど、その質の高さは外部からも高く評価されている。

栽培方法：土耕栽培　品種：紅ほっぺ、章姫

なかうみプロジェクトのメンバーには私を含めて新規就農5年以内の若手農家が4名います。現在、こうした若手が中心となっていちごづくりに関する勉強会を開催しており、お互いのハウスの生育状態と栽培管理にあたっての反省を共有し、栽培技術や品質の向上を目指しています。そのため、農業を始めたばかりの新規就農者でも気兼ねなく質問や相談ができる環境が整っています。

農家という働き方は、人に教えられたとおりのことをやっていればいいというものでは決してありません。特にこれからの時代、今まで当たり前とされてきたことや常識にとらわれることなく新たなことに取り組む姿勢が必要となります。いちごの栽培から加工、販売に至るまで、自ら工夫して変えていける大きな可能性があり、プロジェクトでは今後、共同での販路開拓や売り方の検討を進めていきたいと考えています。「安来いちご」のブランドを守り、将来に継いでいくため、私たちと一緒に挑戦していきましょう。

認定新規就農者　2018年9月より就農予定

Iターン（神奈川県横浜市）

大森 雄介さん・裕美さん

OMORI YUSUKE・HIROMI

PROFILE

雄介さんは神奈川県横浜市出身で、IT企業に20年間勤務。裕美さんは鳥取県米子市出身。「農業に携わりたい」と一念発起し、安来市へ家族4人でIターン。

栽培方法：高設栽培　品種：紅ほっぺ・かおり野

近頃は息子もいちごづくりに興味を持ってくれています。

会社員として働き20年という節目を迎え、子育てが落ち着いてきた状況もあり「これからも、今までと同じ働き方を続けていくのか？」という問いが自分の中にありました。家庭菜園を通じて農の面白さにふれ、しだいに妻の実家のある山陰地方で農業がしたいと考えるようになり、国の青年就農給付金制度の対象年齢のリミットが近づいていると知ったことで「今しかない」と決意しました。その後、島根県の農業担当者から受入体制が整っているとして安来市を勧められたことが、いちご農家としての新規就農と移住を決めたきっかけです。

現在、妻は安来市の地域起こし協力隊として農業分野のサポートに携わっており、任期を終える2019年の春からは本格的に二人でのいちご栽培を始める予定です。移住前よりも夫婦で過ごす時間が長くなり、一緒に働くというスタイルが自分たちにはとても自然なことに思えています。

気温が上昇する春先には、いちごの味を落とさずに品質を保つことができるようコントロールする栽培技術が問われます。

大森さんのいちごづくり

師匠のもとで1年間の研修を終え、現在はJA担い手支援センターでハウス1棟のテスト栽培を行いながら、今年9月からの独立就農に向けて準備を進めています。これに平行して、昨年なかうみプロジェクトメンバーと共同で立ち上げた都市部へのネット直販の仕組みを整えていきたいです。

師匠からの本気メッセージ

己（おのれ）の“ものづくり”に信念を持って。

野島 年光さん　いちご農家歴 45年

NOJIMA TOSHIMITSU

PROFILE

親の代から続くいちご農家を1973年に継いでから、長年こだわりを持った栽培に取り組むいちご栽培のプロフェッショナル。現在は指導農業士としていちごと花きの研修生を受け入れ、積極的に指導を行っている。

栽培方法：土耕栽培
品種：紅ほっぺ、かおり野、サンチーゴ

私がいちご栽培を続ける根底には“ものづくりが好き”という想いがあります。金儲けが第一ではなく、自分が自信を持って提供できるいちごを栽培することで人に喜んでいただくことが本筋であり、収入はその結果としてついてくるものです。そのスタンスに立っているからこそ不作などの問題が起きた場合に、その事実を受けとめ「ダメージを9割から5割に軽減させるためにはどうすればいいのか？」と内省し、農家として成長していくことができると考えています。

研修生の受け入れにあたっては技術的なこともちろん話しますが、一つ一つの作業の理由を伝え、そのうえで「あなたはどう考えるか」と問いかけるように心がけています。気候変動や消費者ニーズの変化など日々移り変わる状況に対応するためには、常に自分で考えて、判断を下していくことが重要です。いちご栽培に正解はありません。ぶれない軸を持ち努力を重ねていくことで、自分だけの農法がきっと見つかるはずです。

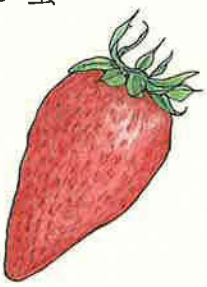
安来のいちご農家が教える

15のこと

安来でつくられるいちごの品種

1 章姫（あきひめ）

濃厚な甘みは
まさに“蜜”



やや細長い形で、果肉がやわらかくジューシーな大粒いちごです。甘みが強く酸味が少ない食味が最大の特徴で、特に冬場、しっかりと糖度を蓄えた章姫の味は格別。お年寄りや子どもに人気のある品種です。

2 紅ほっぺ

絶妙な酸味に、
思わずもう一粒

円錐形の大粒いちごで、果実は果肉の中まで赤く色づきます。酸味と甘みのバランスの良い食味で、ジャムやケーキなどにも相性抜群。「ほっぺが落ちる」美味しさで様々な世代に支持されています。

3 かおり野

農家待望の
ニューフェイス

やや扁平な大粒いちごで、上品な香りと酸味が少なくさっぱりとした甘さが特徴です。いちご農家の悩みのタネであった「炭そ病」に強いという栽培のしやすさが魅力。2010年に品種登録された新品種です。

4 「安来いちご」の美味しさの秘密

最もいちごが美味しくなるのは12月～翌年2月にかけての3ヶ月間。冬場の日照時間が短い山陰地方だからこそ、いちごがゆっくりと時間をかけて色づくことで甘みを蓄えていきます。

5 美味しいいちごの見分け方

ヘタが反っているものは実が熟しているサイン。また、大粒のいちごは熟すまでに時間がかかるので、小粒よりも甘いいちごになります。

6 いちごと水分の関係

いちごは水分を貯めやすく、味が水っぽくなりやすい作物。水やりを控えることで、濃厚な味に仕上げることが栽培の基本です。下坂田地区は水はけの良い砂地の土であるため、いちご栽培には最適な環境です。

7 農家が教える いちごの美味しい食べ方

何といっても、採れたてを生で食べるのが一番！みずみずしくジューシーないちごのさわやかさが口いっぱいに広がります。

いちごの栽培方法

基本的にはビニールハウスで栽培し、ハウス内の温度や水分量などの環境条件を管理することでいちごの生育をコントロールし、長期間にわたっての収穫と品質の保持が可能となります。

8 土耕栽培

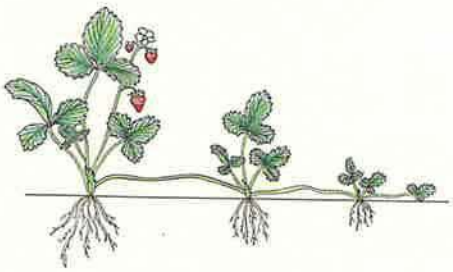
苗を地面に直接植える昔ながらの栽培方式。いちごにかかる生育ストレスが少なく、土中の微生物の働きによる生育促進が期待できることが特徴です。一方で作業時には長時間腰をかがめなければならないなど、作業者の負担も少なくありません。

9 高設栽培

作業者の腰の高さに栽培ベンチを配置する栽培方式であり、近年全国的に普及しつつあります。栽培管理や収穫がしやすく作業性に優れていますが、栽培設備にかかる初期費用が大きくなることが難点です。

10 いちごの苗

いちごの株の根茎と葉のつけ根の間にできる生長点から「ランナー」と呼ばれるツル状のほふく茎が伸び、ランナーの先端が地面にふれることで根がはり、そこに子株が形成されます。1株の親株から発生するランナーは実に50～100本にもなります。



11 畑灌設備（畑地灌漑）

はたかん　はたちかんがい

下坂田地区周辺の農地には飯梨川を取水地とした農業用水の給水システムが整備されており、これを畑灌設備と呼びます。農地にある給水栓を開ければ、天候に左右されない安定した水を畑地に常に供給できます。

12 いちごの花

10月頃から、白くてかわいらしい花が次々と咲きはじめます。開花からおよそ30～40日（冬期：50～60日）で収穫の時期を迎えます。

13 ミツバチによる受粉

ミツバチはいちご農家の大切なパートナー。開花期の10月末頃から出荷が終わる5月末まで、巣箱をハウス内に設置します。ミツバチが花粉を集めるために花から花へとくまなく飛び回ることで受粉が行われ、いちごが大きく立派な実へと育つのです。

14 いちごの出荷時期

ハウス栽培のいちごの出荷は11月後半から翌5月末までのおよそ半年間。特に12月のクリスマスシーズンから需要が高まります。

15 環境にやさしい栽培方法

点滴利用や微生物農薬の活用など環境に負担の少ない農業を実践しています。

ライターがねほりはほり聞いてみた、

安来のいちご農家のこと。

いちご農家のやりがいは？

●自分のつくったいちごを食べた人が喜んでくれる姿を見ることが、何よりのやりがいです。

●人から「こんなに美味しいいちご、食べたことない！」という言葉をいただいたときにはとても嬉しく、いちご農家になってよかったと思います。

いちご農家で大変だと思うことは？

●自然を相手にする仕事なので天候などの状況変化に対応することが一番苦労する点です。農家仲間に相談するなど、人にも助けられながら失敗を次に活かせるように心がけています。

●常に自分の頭で考え、判断し、乗り越えることが求められることです。裏をかえせば、自分の考えで様々なことにチャレンジできる仕事であるとも言えます。

研修の様子は？

●はじめの1年間は師匠となるいちご農家のもとで栽培手法を学びました。その後、市内のJAの研修施設でハウス1棟を自ら管理し、栽培から出荷、販売に携わる実践研修を1年間行いました。

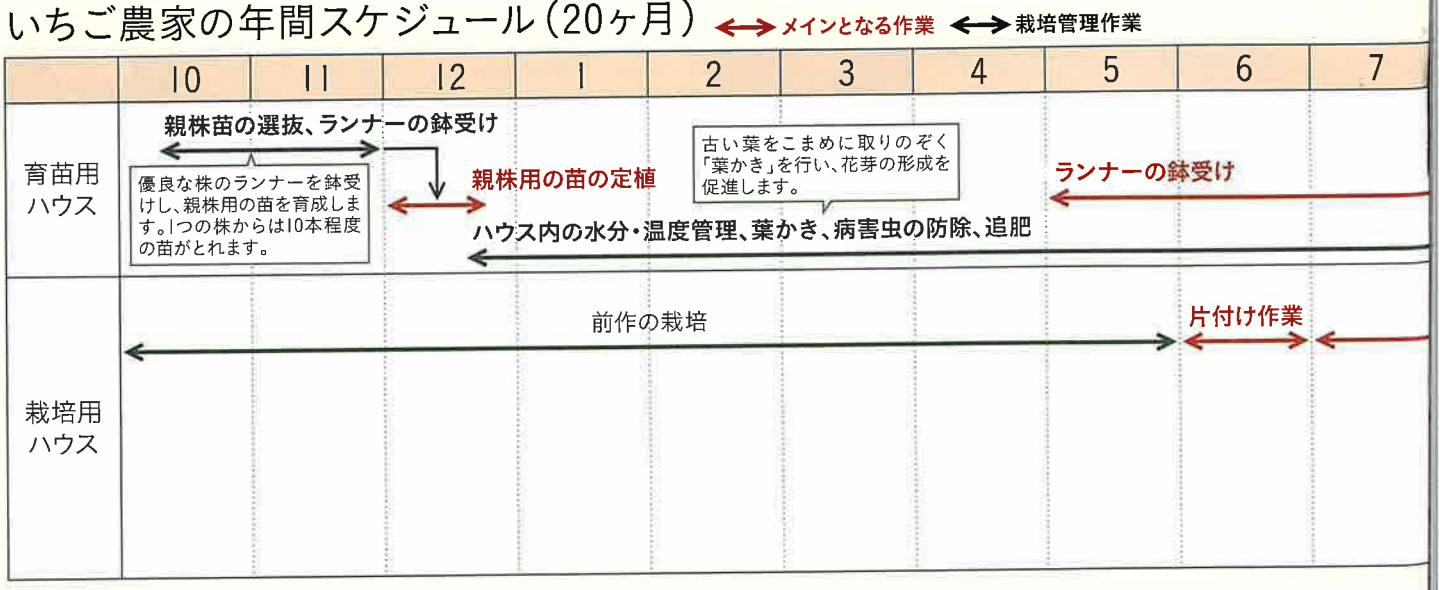
●私は師匠のもとでの研修にあたって、通常よりも長い1年半の期間をとりました。そのおかげで1シーズンのいちご栽培の始まりから終わりまでをしっかりと学ぶことができました。

お休みはとれますか？

●天候の変化によって日々の作業が決まるため、特に大切な収穫・出荷シーズンはなかなか休めないことも。7月は比較的落ち着く時期なので、旅行に出かけることもできますよ。

●夏はハウス内がとても暑くなるので、10時～15時頃までの日中は作業を行わずに身体を休めるようにしています。

いちご農家の年間スケジュール（20ヶ月）



いちご以外の農業もできるの？

いちご栽培に加え、他品目の栽培や体験型農業を組み合わせる複合経営もできます。
収入時期や収入源を分散できるというメリットがあり、工夫次第で様々な可能性が広がります。

CASE 1 いちご×米

市内では、いちごと水稲の栽培時期の差を利用した複合経営を行う農家が少なくありません。そんな農家のひとりである錦織さんは、いちごの出荷と田植えが重なる3～4月頃には家族3人で分担し、協力しながら作業を進めています。

錦織　直人さん　いちごハウス3棟のほか、約10haの水田を経営。

CASE 2 いちご×花

いちごと花きの複合経営を行っている野島さん（P8）は、春先から秋にかけてはいちごの育苗作業と並行して菊やトルコキキョウを、いちごの収穫を迎える冬期は労力のかからない品目のストックを栽培・出荷しています。

CASE 3 いちご×観光農園

気温が上昇し、収穫スパンが短くなる3月頃からは全国的にいちご狩りのシーズン。今年就農予定の大森さん（P7）は、採れたて新鮮な安来の完熟いちごを多くの方々に食べていただきたいと、2020年3月のオープンを目指して準備を進めています。

いちご農家の一日のスケジュールは？

栽培期間が長く、季節によって作業が変化するいちご栽培。農繁期と農閑期ではスケジュールが大きく異なります。いちごの出荷ピークにあたる3～5月頃は収穫、パック詰め、出荷にかかる作業が連日続きますが、シーズンが終わった6～7月は育苗管理が中心になり、比較的落ち着いた一日の流れになります。

農繁期　出荷ピーク：3～5月頃

06:00　起床
07:00　収穫
09:00　パック詰め
12:00　昼食
13:30　ハウス設置準備、イチゴ管理等
16:30　出荷準備
18:00　イチゴ管理作業
20:00　帰宅

農閑期　農閑期：6～7月頃

07:00　起床
08:00　ハウス設置準備、イチゴ苗管理
12:00　昼食
13:30　イチゴ苗管理
18:00　帰宅

※スケジュールは一例になります。

まずは、ここからはじめよう。

いちご農家 体験ツアー

2日間の日程でUIターン就農者の農揚でいちごの農業体験ができます。

時　間	内　容
13:00	JR安来駅集合
13:30-14:30	安来支所研修棟 オリエンテーション・研修制度・就農モデル紹介 UIターン研修生事例発表
14:30-16:30	JA担い手支援C施設見学・新規就農研修滞在施設見学
16:30-17:00	ホテルひさごやへ移動
17:30-18:00	ホテルひさごやチェックイン・休憩
18:00-	交流会(JR安来駅前)

時　間	内　容
7:30-8:30	朝食
8:30-9:00	ほ場へ移動
9:00-11:30	農作業体験
12:00-13:00	昼食、意見交換会
13:00-	JR安来駅解散

※スケジュールは一例になります。

●開催場所／島根県安来市内　●定員／10名　●参加要件／安来市に定住して農業がしたい人
●参加費／あり　●用意するもの／農作業のできる服装、雨具

部分的な参加も可能です。詳しくは下記までお問い合わせください。

いちご農家に興味のある方、お問い合わせください。

安来地域担い手育成総合支援協議会
(安来市農林水産部農林振興課)

TEL 0854-23-3330　受付時間:午前8時30分～午後5時15分(土・日・祝・年末年始は除く)
FAX 0854-23-3382
住所 〒692-0207 島根県安来市伯太町東母里580
E-mail shinkou@city.yasugi.shimane.jp
HP https://www.city.yasugi.shimane.jp/

「本気で、いちご農家やりたい人」
ご連絡ください。

安来地域担い手育成総合支援協議会　TEL:0854-23-3330